

佐賀女子短期大学付属ひしのみこども園

ひしのみだより

令和8年9月10日

文責 園長 和泉 秀浩



2学期がスタートしました。

9月1日、2学期がスタートしました。写真は、始業式の様子です。暑さもあり、にこにこルームで行いました。



この夏には、子どもたちには楽しかった事がいっぱいあったようで、話し足りない様子がうかがえました。

始業式では、2つの話をしました。1つ目は、本園が求める子どもの姿として、「やさしく・かしこく・たくましく」について話しました。これは、姉妹園のふたばこども園（佐賀市）と同じものです。旭学園の学園訓「順和：礼譲：敬愛：奉仕」を園児用にしたものです。3月までには半数の園児が言えるといいなと思っています。

2つ目は、9月1日ということもあり、「防災の日」について話しました。命を守ること、そして、命を守るには、話が聞けるように準備することが大切であることを伝えました。

この夏には、熊本地震や大雨による災害が起きています。熊本地震の際には、ひしのみこども園も揺れました。園児のいる時間帯でした。園児たちは、騒がずに、先生の話聞いて適切に避難の体制をとっていました。毎月の避難訓練が生かされていました。

被害にあわれた方々には、心よりご冥福とお見舞いを申し上げます。

お兄さんお姉さんとの交流

9月2日～4日まで、中央校8年生6名が職場体験として、園児たちと関わりをもちました。園児たちは大歓迎で、いつも以上に遊びに夢中でした。初日に、子どもたちは目を見て話してきて、口を見て話を聞くからねと伝えました。このことを心におき、園児たちと向き合ってくれました。これには園長として感謝の思いでいっぱいです。8年生のみなさんが、いつもより自分の笑顔が増えた感想をもって職場体験は終了しました。園児たちの影響力はすごいなと思います。子どもは人を笑顔にする、すごい力をもっていることを再確認しました。

ひしのみこども園では、この他にも、佐賀女子高校や佐賀女子短期大学の生徒・学生さんとの交流をもっています。遊びを考えてきてくれたり、オペレッタを披露してくれたりしています。また、教育実習にも多くの学生が来ます。これらの関りが、園児たちを更に成長させてくれています。

課外教室について

本園では、希望者に4つの課外教室を実施しています。「絵画教室（4・5歳児）」「和心教室（4・5歳児）」「音楽教室（4・5歳児）」

「英語教室（3・4・5歳児）」です。月謝はかかります。原則は、週1回の14:00頃から1時間程度です。参加している子どもたちは熱心に、楽しく取り組んでいます。

来年度は4月頃に募集を行います。



音楽教室の様子



和心教室の様子